

第28回

# 岸本カバス・リサイタル

ピアノ 村上弦一郎

朗読 森山 太



## ロシアロマンスから清水 脩へ

RUSSIAN ROMANCE

OSAMU SHIMIZU

**ボロディン**  
1833-1887

遠い祖国の岸辺を求めて  
心にもない口調

**キュイ**  
1835-1918

夜の静けさに何を夢見る  
悲しみにうちひしがれ

**バラキレフ**  
1837-1910

騎士  
魅惑的な安らぎの貴女は〈本邦初演〉

**ムソルグスキー**  
1839-1881

小さな星よ、おまえはどこに  
蚤の歌

**リムスキー=コルサコフ**  
1844-1908

グルジアの丘の上に op.3-4  
たなびき流れる雲はまばらになり op.42-3

**ラフマニノフ**  
1873-1943

ここはすばらしい op.21-7  
歌うな、美しい女よ op.4-4  
春の流れ op.14-11

**メネトル**  
1880-1951

バラ op.29-6  
私はあなたを愛した op.32-4  
夜の微風 op.36-4

**清水 脩** 1911-1986

「死の淵より六篇」  
1975年委嘱作品

詩 高見 順

序詩—朗読 望まない

死者の爪

渇水期

生と死の境には

愚かな涙

洗えと言う

庭で

1. 草の実

2. 祈り

3. カエデの若い芽

結び—朗読 夢に舟あり

2014.11.1 土 18:00開演 (17:30開場) ヤマハホール(銀座)

入場料 [全自由席] 一般 4,000円 学生 3,000円

チケット取り扱い \* 二期会チケットセンター  
03-3796-1831

7月1日  
発売

- 東京メトロ銀座線 丸ノ内線 日比谷線「銀座」駅 A3出口より徒歩4分
- 都営地下鉄浅草線「新橋」駅、「東銀座」駅より徒歩7分
- JR線「新橋」駅 銀座口より徒歩7分

後援 \* ロシア連邦大使館 / ロシア連邦交流庁 (Rossotrudnichestvo) / 毎日新聞社 / 日本・ロシア音楽家協会  
公益財団法人東京二期会 / 二期会ロシア歌曲研究会 / 二期会ロシア東欧オペラ研究会

マネジメント \* 公益財団法人東京二期会 お問い合わせ \* 二期会チケットセンター 03-3796-1831





# 第28回 岸本カバス・リサイタル

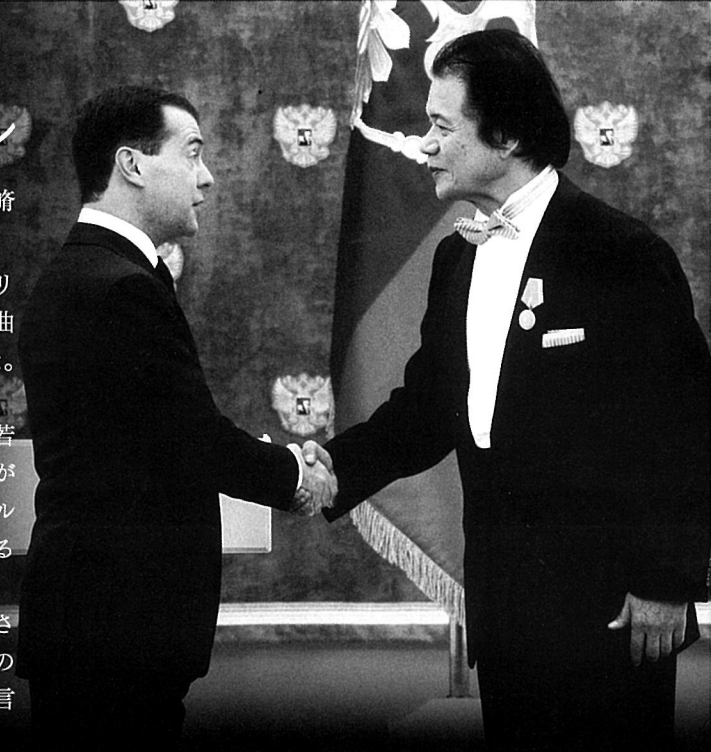
「一つの触発」——清水 脩

昭和48年の音楽コンクールで私はいく人かの優れた新人を発見した。その一人に、岸本力君のバスがあった。その時のムッソルグスキーの歌劇「ボリス・ゴドノフ」幕切れの歌には、こわいほどの感動をおぼえた。こういう人に曲を書いて歌ってもらいたいとすぐ思った。意欲がおのずと湧いてくるのを覚えた。私は高見順の「死の淵より」から数篇を選び、それを提供することにきめた。岸本力君はまだ若いけれども、めずらしく深い声を持っている。その音楽には若さがみなぎっている。だがそれは断じて青くない。むしろもう熟しかけの深さがある。それは演奏ごとに眼に見えて掘りさげられている。私が初めてコンクールの折に聴いて心を打たれたのは決して嘘ではなかったのを知って心が満たされるのを覚えている。

作曲家には創造意欲の触発ということがある。この「死の淵より六篇」はまさしく岸本力君の声と音楽の触発によって生まれたのである。この歌が岸本力君の音楽とどのようにぶつかり合ってステージにのせられるか、私はそれを何とも言えない楽しみにしている。

1975年第1回リサイタルへの清水脩先生のお言葉より

2012.2.17 メドベージェフ大統領とモスクワ郊外の大統領公邸にて



## 岸本カバス

KISHIMOTO Chikara

東京藝術大学卒業、同大学院修了。1973年、日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」でデビュー。

1976年文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア、オーストリアに留学。1977年ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了。第41回日本音楽コンクール第1位、第17回海外派遣コンクール特別賞、第5回チャイコフスキー国際コンクールで最優秀歌唱賞。ジュネーブ国際コンクール銀賞。ヴィオッティ国際コンクール銀賞を受賞。

NHK-TV・ラジオなどに出演する他に、《第九》《森の歌》などのバス・ソロ、1984年の「ショスタコーヴィチ歌曲のタベ」のリサイタルでは第39回文化庁芸術祭で優秀賞受賞。オペラでは《ボリス・ゴドノフ》国境警備をはじめ、《夢遊病の女》ロドルフォ公爵、《魔笛》ザラストロ、《青ひげ公》青ひげ公、《セヴィリアの理髪師》バジリオ、《モーツァルトとサリエリ》サリエリ、《コシ・ファン・トゥッテ》アルフォンソ、《フィガロの結婚》バルトロ、《後宮からの誘拐》オスミン、《ドン・カルロ》フィリッポ2世、《シモン・ボッカネグラ》フィエスコ、《ペレアスとメリザンド》アルケ王、《ムツェンスク郡のマクベス夫人》ボリス等を演じた。1992年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第14番》「死者の歌」(秋山和慶指揮/東響)にバス・ソロで出演。1993年にはタン・ドゥン作曲《オーケストラ・シアターⅡ:Re》(岩城宏之指揮/東響)の世界初演に出演し話題を呼んだ。又2003年、2004年、2006年と日本フィルとの「ロシア民謡コンサート」を開催し成功をおさめた。最近では、2014年2月ショスタコーヴィチ作曲《交響曲13番》「バビ・ヤール」(長田雅人指揮/オーケストラ・ダスピ)に出演。ロシア音楽をライフワークにしており、未知の歌曲群の紹介、ロシア歌曲集の編集などの活動は目覚ましく、日本屈指バス歌手であると同時に、ロシア音楽の第一人者である。

2010年12月「永年にわたり、ロシア芸術歌曲や民謡を中心に優れた演奏をし、我が国におけるロシア音楽の普及・振興に多大な貢献をしたとして」文化庁長官表彰賞受賞。2012年2月ロシアのメドベージェフ大統領から、ロシア文化の振興への貢献を讃え日本人歌手として初めてのプーシキン・メダル(ロシア文化勲章)受章。2012年11月茨木市民栄誉賞受賞。

キング・インターナショナルより『つかれた太陽 一岸本力・ロシア民謡集』をリリース。2012年「プーシキン・メダル受章記念リサイタル」開催、2013年「デビュー40周年記念リサイタル」開催。

武蔵野音楽大学・同附属高等学校講師。日本音楽コンクール、静岡国際オペラコンクール、チェコ音楽コンクール、学生音楽コンクール等の各審査員歴任。二期会幹事。日本・ロシア音楽家協会副会長。二期会ロシア歌曲研究会及び二期会ロシア東欧オペラ研究会代表。

### ピアノ

## 村上弦一郎

MURAKAMI Gen-ichiro

1971年、第40回NHK毎日音楽コンクール第一位を得、翌年ショパン協会の主催でデビュー。1973年桐朋学園大学卒業後、ルーマニアのブカレスト音楽院へ留学。各国のコンクールで上位入賞。1978年にはチャイコフスキー国際コンクールでファイナルディプロマを獲得している。

以後も、国内、ヨーロッパ各地で、リサイタルをはじめ、室内楽、各オーケストラとの共演、放送局での録音、と幅広く活動。新作の発表にも意欲的に取り組んでいる。2005年2月、10月のリサイタル、ベートーヴェン交響曲「田園」「英雄」のトランスクリプションでも高い評価を受ける。2002年9月には、GEN室内管弦楽団を結成し、国内での公演は10回を超える。2004年には渡欧し、ドイツ・ハイデルベルク公演、コンチェルトのタベで好評を博した。デュシ・リパッティ国際コンクール(ブカレスト)、日本音楽コンクールを始め数多くのコンクールでの審査員を務める。2000年4月~2001年3月ハイデルベルク大学客員研究員(ドイツ)。2003・2004年日本音楽コンクール審査員。2006~2009年全日本学生音楽コンクール審査員。2011年8月23日に「村上弦一郎デビュー40周年記念演奏会」(サントリー大ホール)開催。現在、桐朋学園大学教授。



### 朗読

俳優

## 森山太

MORIYAMA Futoshi

1996年から2000年まで劇団と契約し全国の小中学校をまわるミュージカル公演に参加、1000本以上の舞台に出演。2002年12月に、舞台音楽研究会主催オペラ『魔法の笛』に、役者として出演し、ザラストロ役を好演。オペレッタ『こうもり』のフロッシュ役では常に好評を博す。また、アカデミック・シェイクスピア・カンパニー『マクベス』、西村友氏指揮『兵士の物語』、『ハーメルンの笛吹き男』、花山らら氏演出『WとMとOの∞の悲劇~「ドグラ・マグラ」「オイディプス」より~』(主演)、岡田圃氏演出『夜叉ヶ池』、『雨月物語・蛇性の姪』(利賀演出家コンクール2007優秀演出家賞受賞作品)他、数多くの舞台に出演する。俳優として活動を続ける一方、オペラ演出も数多く手がけ(「サンドリヨン」「イオランタ」「三部作」等)、その手腕を発揮。台本作家としても定評がある。現在では舞台・映像・CMと多方面に渡って活躍中。

